

平成22年度 第4回がまごおり協働まちづくり会議 会議録

日 時 平成22年10月 1日(水)

14時00分～

場 所 蒲郡市役所 新館5階 庁議室

参加者：和泉会長、金子副会長、西川委員、小田委員、藤田委員、小林浩子委員
(事務局) 酒井、小山、石川、森

1 開会

2 議題

1) 助成金について

ア 第2回情報交換会報告

(事務局)

～資料 平成22年度 はじめの一步部門 実施スケジュール～ 説明。

9月28日(火)18時から第2回情報交換会を開催。11団体参加。G♥Childとオール三河トレナーズクラブが欠席。(2団体は事前に聞き取り)

<はじめの一步部門>

オール三河トレナーズクラブ

10月と2月に体のケアを行うブースを設ける。6月から9月の体づくり教室は主催で行えなかったため、別の日程で行う。

G♥Child

石鯛をつつじ寮と共同で作ったが固まらなかったため、11月のみかん石鯛をみかんジャムに変更したいという相談あり。

パソコンクラブごごみ

参加者に大変喜ばれている。回数を増やして欲しいという要望があった。

尺地川・蛍の会

事業とは別に塩津北保育園の園庭に芝生を植えた。週1回の芝刈りが必要で、ボランティアで行っている。

がまごおり花フル会

9/16にハンギングバスケット80個の制作・展示した。

手作り紙芝居の会

毎週月曜日に西部市民センターで紙芝居を作っている。7月に西部小でオカリナ絵付けを行い、11月に発表予定。

<ほとばしる情熱支援部門>

春日桜会

手すり工事遅れていたが回数を重ねて10月に完成予定。地域の人とサツマイモの収穫を行う。試験的に植えた蕎麦は猛暑や鳥被害のため断念。

東三河動物福祉の会「蒲郡ハーツ」

報告会の前には 69 匹の猫を捕獲した。ラグーナ入り口（サークルK前の茂み）で捕獲機を設置したが猫以外の動物がいるようで困っている。

未来塾

9/19 水辺のテラス完成。散策路づくりは関係者と協議中。

ハッピー・クッキング

2 回食育講座を行った。申し込みの翌日には定員に達した。回数を増やして欲しいという要望があった。

社団法人 蒲郡青年会議所

6 月 13 日のわんぱく相撲（ラグーナ開催）は場所の知名度もあったので参加者も早い段階でいっぱいになった。

～資料 事業を進捗するにおいて、問題点・課題～ 説明

人集めに苦労している団体があった。プレスリリースなど積極的に行うことが効果的。蒲郡ハーツが猫以外の動物を捕獲したときはどうしたらいいか悩んでいる。未来塾の方が蒲郡で動物の問題に対する委員会が開かれている。山が荒れているのが大きな原因ではないか。会場探して困った方がいたので、まちづくりセンターで相談に来てもらうように促した。

（副会長）

<はじめの一步部門> で実施後変更があったのがパソコンクラブごみ以外全部。

<ほとぼしる情熱支援部門> では実施後変更があったのは春日桜会と東三河動物福祉の会「蒲郡ハーツ」だった。

<はじめの一步部門> では事業の計画性が重要。

（会長）

余りにも大きな変更は良くないので、応募する段階で確認をする。

（副会長）

<はじめの一步部門> と<ほとぼしる情熱支援部門> は予算も違うし、報告の仕方も違うので<はじめの一步部門> に関しては事業変更を緩和して欲しい。

（会長）

費用が大きく変わってしまうのは良くないが、同じ費用の中でならありではないか。少し余裕を持たせた方がいい。

（委員）

相談窓口があるのがいい。

（委員）

柔らかい目で見えていく。

イ 平成 23 年度助成金制度

（事務局）

<はじめの一步部門> 平成 23 年度前期募集 募集要項案 について 2 箇所訂正。

【訂正】 表紙の 応募期間 前期平成 23 年 1 月 24 日(月)～2 月 9 日(水)

助成金制度の流れ < 応募期間 > 1 月 24 日～2 月 9 日

< はじめの一步部門 > は前回の会議で前期後期と分ける事になった。

前期募集の要項に『平成23年度はじめの一步部門の後期募集は、平成23年6月ごろを予定しています。なお、前期に応募された団体は応募できません。(総額50万円を予定)』と記載したがどうか。

(会長)

前期に応募したが落ちてしまった団体は応募してもいいのではないか。

(副会長)

後期のみ『前期募集に助成された団体は応募できない』でどうか。

(事務局)

後期の募集要項のみ記載する。

(事務局)

< はじめの一步部門 > は前回の会議で100万円になったが、前期・後期とも50万円がいいか確認したい。

(会長)

予定で前・後期50万円ずつにしておけばいいのではないか。前期の様子を見て前期60万、後期40万に変更したらどうか。

(事務局)

応募期間は< はじめの一步部門 [前期募集] > < ほとばしる情熱支援部門 > と同じ。平成23年度、変更になったところは、

(6) 対象経費 (経費について個別に内容を審査し、対象外となった場合には、申請額から減額し助成を決定することがあります。)と記載。

助成金審査方法で面接審査を行う。

< はじめの一步部門 [後期募集] > は応募期間が平成23年6月1日~6月15まで。

< ほとばしる情熱支援部門 > の応募期間は平成22年1月24日から2月9日。告知は1ヶ月前の広報1月号(12/25発行)で初めて告知する。告知 説明会 応募期間という流れになる。変更になった点は、

(2) 限度額及び総額

1事業あたり上限100万円(下限10万円)で、総額250万円を予定。

22年度は総額300万円だった。50万円減額の分が< はじめの一步部門 > へまわった。

(会長)

募集要項はこれでいいのではないか。

(副会長)

公開審査会について、昨年度のことを考慮すると予備日を考えておいた方がいいのではないか。

(会長)

災害のための予備日なら1週間では無理なので予備日は必要ない。場所を検討したらどうか。以前高校で行ったことがある。大学などを利用するのも1つの方法では。

(副会長)

今までプレゼンテーションを同じ場所でやったことがない。この活動をイメージするような場所で公開プレゼンができないだろうかと考え、海のまち蒲郡にちなんで、船の上で

できないだろうか、23号線のトンネルの中、観光でホテル・旅館など。

(会長)

大学や学校関係は協力が得られやすいのではないかな。

(委員)

学校関係に賛成。大学生のボランティアスタッフと一緒にやったらどうか。双方にメリットがあるのではないかな。

(会長)

まちづくり会議と大学生ボランティアとの新しい連携。

(事務局)

以前、日曜日は大学に誰もいないので、不可といわれた。

(会長)

大学の先生も交えて、大学の予定に組んでもらう方法がある。

2) 食育プロジェクトについて

(事務局)

～資料 平成22年度食育プロジェクト事業報告～説明。

おやつサポート事業

サポーターが各園4名決まった。

おやつ情報提供事業

父兄に対する食育講座を予定。

おやつ開発事業

地元の魚を使ったおやつを考案中。おやつを1つの食事として捉え低カロリーで栄養価の高いもの。2月に試食会。

多くの人に関わってくださっている。その分日程調整が難しい。

(会長)

提案型のモデル事業。どこにどういう問題点があるか、どうしたら解決できるかを考えていく必要がある。

(副会長)

山本委員が一人4役行っているので、負担を軽減してあげた方がいい。

(会長)

援助スタッフが必要。行政との関わりを増やした方がいいのでは。

(委員)

食育プロジェクトの状況について、今後、写真等を用いて行ってほしい。

3 その他

(委員)

わんぱく相撲は市民からやって欲しいという要望がでるところまでいきたい。

9/26の蒲郡旨いもん祭を蒲郡駅で行った。蒲郡の魅力を市民にわかって欲しい事業として「食」を通して行った。20店舗を予定していたが実際は18店舗がボランティアで行った。一般品評者は当日先着で200名募集したが350名来たので150名は帰って頂いた。3

回事前説明会を行い、まちづくりへの思いを伝えた。会が終わって参加団体から地域活性などの言葉が聞こえるようになった。販売ということも視野に入れて他の団体が継続してくれると嬉しい。事業費は40万円かからなかった。

(委員)

ぎょぎょうランド。

8月末に水産加工会社がメンバー入りした。地元の理解が深まっているのではないか。
～資料「新しい公共」主体によるコミュニティ活動におけるコスト構造と福祉効果～説明

(委員)

ジュニアリーダーの研修を行っている。小学校のうちは参加できても中学校になると部夏等で参加できなくなる。実際には本当のジュニアリーダーを育てられていないのが現状。大人の育成者も不足しているので、高校生や大学生と連携できたらいいと思う。

(委員)

高校生ネットワークボランティアネットワーク(13校で構成)が年に1度集う。12/24午前は松葉公園、ココニコでイベント、午後は松葉公園で防災、派遣村でボランティアを行う。

(会長)

観光のまちづくりをどこかのグループが考えていただけるといいかと思う。

(事務局)

新聞記事「蒲郡花フル会」について。やっている人の表情がとても良かった。

「春日桜会だより」について。役割が非常に良くできている。

今年は団体の活動をPRすることに力を入れている。助成金団体の活動を広報に載せる予定。

次回予定 11月8日(月)午前10時～